

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市国民健康保険運営協議会		
事務局 (担当課)		国保年金課 電話042-707-7023(直通)		
開催日時		令和7年1月22日(水) 10時00分～11時00分		
開催場所		市立産業会館 4階 懇談室		
出席者	委員	10人(別紙のとおり)		
	その他	0人(別紙のとおり)		
	事務局	15人(生活福祉部長、他14人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		<p>1 開会</p> <p>2 報告事項等</p> <p>(1) 国民健康保険事業の概要について</p> <p>(2) 相模原市国民健康保険事業運営方針の評価について</p> <p>(3) 相模原市国民健康保険データヘルス計画及び特定健康診査等実施計画について</p> <p>3 閉会</p>		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

会議に先立ち、国保年金課長から、対面及びWEBによる、「ハイブリッド方式」での開催についての旨報告された。

1 開会

会長より、定刻において出席委員数は10名で、定足数である過半数を充足し、本協議会が成立する旨報告がなされた。

2 報告事項

(1) 国民健康保険事業の概要について

事務局から、資料1に基づき、国民健康保険事業の概要について説明がされた。

【質疑・意見等】

(大貫委員) 子どもの均等割減額対象を未就学児までにすることについて、どのような影響があるのか。

(事務局) 未就学児までを減額することについては法律で定められていることから、減額措置について変わらないが、市独自の取組である、7歳から18歳までの減額措置については、今年度をもって終了とする。減額措置を終了することで、約1億円の収支改善が見込まれるが、税率を維持するための財源に充てることとなる。

(原田委員) 子ども・子育て支援金制度は、児童手当の所得制限がなくなることと関係があるのか。

(事務局) 子ども・子育て支援金制度は、児童手当の財源などに充てられるものであり、法改正により令和8年度から全保険者に適用される制度である。令和8年度からは、「子ども・子育て支援金分」として追加されるため、税率改定することになる。

(原田委員) 医療費助成の所得制限がなくなること、国民健康保険への影響はあるのか。

(事務局) 影響は特にないと考えている。

(佐藤委員) 子どもの均等割減額対象を未就学児までにすることについて、幅広く周知してほしい。

(事務局) 今後対応を検討していく。

(2) 相模原市国民健康保険事業運営方針の評価について

事務局から、資料2に基づき、相模原市国民健康保険事業運営方針の評価につい

て説明がされた。

【質疑・意見等】なし

(3) 相模原市国民健康保険データヘルス計画及び特定健康診査等実施計画について事務局から、資料3に基づき、相模原市国民健康保険データヘルス計画及び特定健康診査等実施計画について説明がされた。

【質疑・意見等】

(原田委員) ジェネリック医薬品について、昨年10月から選定療養制度が開始となったが、ジェネリック医薬品の利用率の見通しはどうか。

(事務局) 令和6年10月診療分での利用率は約85%であり、その後も上昇傾向である。

(佐藤委員) 重複・頻回受診対策事業の相談機関の案内について、前年度対象者の投薬減少率が52.3%であり、約半数には効果が出ていないため、適正な医薬品の使用を周知してもらいたい。

(事務局) 現在、向精神薬に限定し、通知により注意喚起を実施しているが、市職員ではアフターフォローに限界があるため、令和7年度から重複・頻回受診の指導業務を民間事業者へ委託する予定である。業務の委託化により、薬の種類や対象候補者を増やすことができ、加えて、専門職によるアフターフォローも可能になると考えている。

(佐藤委員) 現在、条件を設定して該当者を抽出していると思うが、委託をする際には、設定条件の見直しなどについて、必要に応じて薬剤師会等の関係機関と協働して行ってほしい。

(事務局) 薬剤師会には、令和7年3月に委託に関する情報提供を行う予定である。

(原田委員) 特定健診の休日会場健診は、医師会の医師が担当しているのか。

(事務局) そのとおりである。

(原田委員) 市として回数を増やしていきたいのか。

(事務局) 休日しか受診できない方も多いため、予算に限りはあるが、回数を増やしていきたいと考えている。

(大貫委員) 特定健診の受診率は毎年30%程度から上がらず、目標値と乖離しているが、今後受診率を上げていく方策はあるか。

(事務局) 前回の計画では、目標値を高く設定してしまったこともあり、第3期計画では現実的な目標値を設定している。また、都市部は受診率が低い傾向であるが、指定都市である仙台市などは高いことから、本市も上げる努力をしていきたいと考えている。

(篠塚委員) 特定保健指導の受診率も伸び悩んでいるが、オンライン面接は既に行っているのか。

(事務局) 現在、対象者に通知を送付したところであり、試行実施をしているところである。今回の結果により、今後のオンライン面接について検討していく予定である。

(篠塚委員) 受診率を上げていくために、今後様々な方策を考えてほしい。

(高澤委員) 市のホームページから人間ドック等の助成に関するページを見つけることが難しく、助成に関して知らない方が多いと感じるため、ホームページの修正等について検討してほしい。

(事務局) 検討し、対応していく。

3 閉会

最後に会議録の作成については、会長及び副会長に一任された。

以 上

相模原市国民健康保険運営協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	江成 昭満		公募委員	出席
2	川久保 君江		公募委員	出席
3	木津 拳太		公募委員	出席
4	丸子 憲寿		公募委員	出席
5	梅澤 慎一	一般財団法人相模原市医師会	保険医等代表	欠席
6	原田 克也	一般財団法人相模原市医師会	保険医等代表	出席
7	庄井 和人	公益社団法人相模原市歯科医師会	保険医等代表	欠席
8	佐藤 克哉	公益社団法人相模原市薬剤師会	保険医等代表	出席
9	高澤 厚子	相模原商工会議所	公益代表	出席
10	中牟田 好江	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら	公益代表	出席
11	篠塚 実希子	相模原市自治会連合会	公益代表	出席
12	大貫 君夫	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会	公益代表	出席